

# ロシア留学体験レポート

新潟国際情報大学  
国際学部国際文化学科 2年  
21017063 佐々木愛莉

ロシア留学を振り返ると、楽しいことばかりが思い出される。しかし、実際にロシアで留学中は困難も戸惑うこともあった。

私がロシア留学に対する不安は、韓国人のルームメイトとうまくやっていけるかであった。4か月間も家族以外の人と暮らすのが初めてで、国が違えば習慣も違うので、不用意に相手を怒らせてしまわないか心配だった。私のルームメイトはほかの部屋よりも数日早く来た。到着日は不明確で、ある日の早朝に寮母さんが部屋のドアをたたき、ルームメイトが入ってきた。まさか早朝に来るとも思っていなかったのもとても驚いた。はじめこそ様子をうかがっていたが、交流会を開いてからはお互いに会話も増え、授業の話や、美味しかったお店、趣味の話、今日はどこに行った、など話すようになった。韓国人と日本人の友達同士で集まって一緒にお出かけしたり、ご飯を食べたり、ゲームをして遊んだりした。ほかの部屋同士でルームメイトを自慢するような場面もあった。部屋で気を抜いているときも一緒に過ごしていたので、お互いに信頼できる関係になっていた。

留学中、体調管理が大事だが、水道の工事の都合で、蛇口から氷水くらい冷たい水しか出ない時や、熱湯しか出ないときがあった。顔を洗う時、歯を磨くとき、お風呂にはいる時にとっても困った。また、洗濯機が壊れ、修理する間、洗濯機が使えなかった。

ロシアの人は怖いというイメージを持たれやすいが、そんなことは全然なかった。スーパーで探し物をしているとき、何を探しているの？と、声を掛けてくれた。探しているものを伝えると、売り場まで案内してくれた。バスで隣の席に乗ったときも、どこから来たの？と話しかけてくれました。日本人だと伝えると、こんにちとはありがとうございますを話せる人が多くいた。

留学期間中に、日本語を勉強している学生、ロシア語を勉強している学生、先生方、寮母さん、学生寮に住んでいる学生、など、様々な人と出会うことができました。

この留学に参加できてとても有意義な4ヶ月間を過ごすことができました。家族と先生方、この留学に関わってくださったすべての方に感謝いたします。